

2023年度（令和5年度）

知床国立公園カムイワッカ地区利用適正化対策協議会 議事概要

1. 日 時：令和5年6月12日（月）14：00～15：00
2. 場 所：斜里町産業会館 2階大ホール
3. 議 題：（1）2022年度の事業結果について
（2）2022年度の収支決算報告及び会計監査報告について
（3）2023年度実施計画及び収支予算案について
（4）その他
4. 参加者：21名、詳細は出席者名簿を参照（斜里町環境課吉田氏が当日欠席）

司 会 環境省 家入（副会長代理）

挨 拶 斜里町 山内（会長）

議 題

（1）2022年度の事業結果について

- 資料1-1（シャトルバス運行・マイカー規制関連事業の実施結果）－北海道・椿原より説明
 - ・主に3つの事業（交通規制なしのバス増便、知床五湖からカムイワッカ間の交通規制を伴う従来方式によるシャトルバス運行、ホロベツ以奥の規制を伴う新方式でのシャトルバス運行）を実施した。従来方式期間中の渋滞は軽微で、10日間の総乗車人数は昨年比65%に留まった。新方式を実施した3日間は天候が安定し、ヒグマとの軋轢や顕著なトラブルは発生しなかった。総乗車人数は昨年比71.9%と減少した。渋滞対策に加えて複数の誘客イベントも実施した。また周知広報とアンケート調査も実施した。
- 資料1-2（カムイワッカ湯の滝1の滝以奥再利用検討事業実施報告）－北海道・椿原より説明
 - ・3ヶ年事業の2年目は観光船事故の影響を受け、規模を大幅に縮小して実施した（3日間のみ）。運用体制は個人利用型で移動手段はシャトルバス、協力金はバス料金を含む2,000円とした。参加実績は53組85名で、昨年比56%と減少した。

◇質疑応答

- ・質疑なし。

（2）2022年度の収支決算報告及び会計監査報告について

- 資料2-1①（マイカー規制事業収支決算書）、
- 資料2-1②（カムイワッカ湯の滝1の滝以奥再利用検討事業決算書）、
- 資料2-1③（統合収支決算書）－斜里町・岩渕より説明
 - ・昨年度のマイカー規制とカムイワッカ湯の滝の両事業の合計の収支予算は305,758円のマイナス、合計収支決算はマイナス720,279円となった。
- 資料2-2（会計監査報告書）－自然公園財団・伊治氏より説明
 - ・各証拠書類に基づきいずれも適正に処理され収支決算報告書のとおりであったことを確認した。

◇質疑応答

- ・質疑なし。

(3) 2023 年度実施計画及び収支予算案について

○資料 3-1 ① (湯の滝利活用検討事業実施計画案) - 斜里町・河井より説明

・事業概要並びに事業主体及び検討の枠組みについては昨年度と同様。試行事業の運用方法については昨年度と比べて制限利用区域の拡大(上下の統合)、試行事業の名称変更、期間の延長(93日間)、レクチャー受講方法(オンライン)、一日あたりの上限人数(210名へ増加)などの変更を加える。また混乱防止を目的にシャトルバスは自然センター/カムイワッカ間の直行とし、事業全体は観光庁による「観光再始動事業」の支援を受けて実施する。

◇質疑応答

・質疑なしで承認。

○資料 3-1 ② (マイカー規制、シャトルバス運行に係る実施計画案) - 環境省・井村より説明

・本年度は湯の滝試行事業と一体的な対策を実施する。過去3年続けたアクセス事業は見送り、これまでの実績、効果の検証と今後の計画策定の時間に充てる。

・シャトルバスは湯の滝への代替輸送手段として7月22日から29日間、また規制を伴わない渋滞対策として7月と8月に合計9日間の運行を実施する。次年度以降の計画策定についてはこれまでの成果の総括を共に進め、協議事項は各部会及び協議会にて適宜報告する。その他の許可申請、調査モニタリングの実施、広報関係、警備業務等については昨年と同様の内容で実施する。

◇質疑応答

・質疑なしで承認。

○資料 3-2 (統合収支予算案について) - 斜里町・岩渕より説明

・本年度は湯の滝事業とバス事業を統合した予算書とした。収入についてバス運賃収入は利用者の増加を見込んで90万円、協力金は利用者数6,000人を見込んで1,200万円とした。3月に採択内定を受けた観光庁補助金は4,679万円を計上した。分担金は斜里町からこれまでどおり合計480万円とした。

・支出について、運営補助業務委託料や直通バス運行費用など補助金の対象になる経費と、通信環境改善業務や増便バス運行費用など対象にならない経費に分けて様々な委託料を計上した。斜里町からの分担金は全額戻入予定とした。総支出額は6,490.5万円とした。

◇質疑応答

・予算書内、通信環境改善業務の詳細について(知床ガイド協議会・岩山氏)

→現段階では調査中だが中継地点の設置等を通じて無線通信の安定化とインターネット回線の実現を目指している。衛星回線を利用した局所的なWifi通信も検討中。滝エリアでの改善を目指しており、林道入り口から滝までの区間は課題ではあるが技術的にも難しい。(斜里町・岩渕氏、河井氏)

◇承認

・了承。

(4) その他

・質疑なしで終了

以上